

■一般国道54号*の混雑状況



安佐北区大林二丁目



安佐北区三入五丁目

■一般国道54号*の交通事故発生状況



*一般国道54号可部バイパス（供用済区間）に並行する現道区間（広島市安佐北区可部南四丁目～同区大林町）は、平成28年4月1日付けで路線名称を一般国道183号に変更し、広島市が管理しています。

今回の開通により期待される主な効果

1 可部地区の渋滞緩和
可部バイパスへの交通の転換により、**渋滞が緩和し、所要時間の短縮**が期待されます。

2 死傷事故の減少
交通の転換により渋滞が緩和することで**死傷事故の減少**が期待されます。

3 可部地区の地域活性化に寄与
物流の円滑化や混雑緩和による利便性向上により、**沿線地域の活性化**が期待されます。

4 救急医療の支援
円滑な救急搬送がなされ、**搬送時間の短縮**や**患者への負担軽減**が期待されます。

国土交通省中国地方整備局
広島国道事務所
〒734-0022 広島市南区東雲2丁目13番28号
TEL(082)281-4131 FAX(082)286-7897
<https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



可部バイパスの概要

国道54号*は、広島～三次～松江間を結ぶ陰陽連絡の主要な幹線道路であり、社会経済活動に大きく寄与しています。しかし、国道54号*沿道の広島市北部地域は、急激な宅地化が進み、人口が増加しました。

こうした人口増加に伴う通勤・通学交通の増加や広島県北部、山陰地域から広島都心部への通過交通等により、広島市安佐北区可部付近では、慢性的な交通渋滞が発生するとともに交通事故も多発し、都市活動に重大な影響を及ぼしています。

可部バイパスは、これらの問題を解消し、幹線道路網を体系的に整備するために計画された、新太田川橋から上根バイパス（平成2年3月開通）を結ぶ延長9.7kmの4車線のバイパスです。

なお、これまでに起点から国道191号までの2.8kmを平成8年8月に、国道191号から（県）南原峡線までの1.4kmを平成15年3月、（県）南原峡線から（市）山倉線までの1.8kmを平成19年3月に、（市）山倉線から安佐北区大林三丁目までの2.2kmを平成26年2月に暫定2車線で開通しています。

引き続き可部バイパスの4車線化事業を進め、起点から可部南4丁目（南）交差点までの0.7kmを平成26年3月に、可部南4丁目（南）交差点から安佐北区民文化センター入口交差点までの2.1kmを令和3年2月に4車線で開通しています。

■計画概要

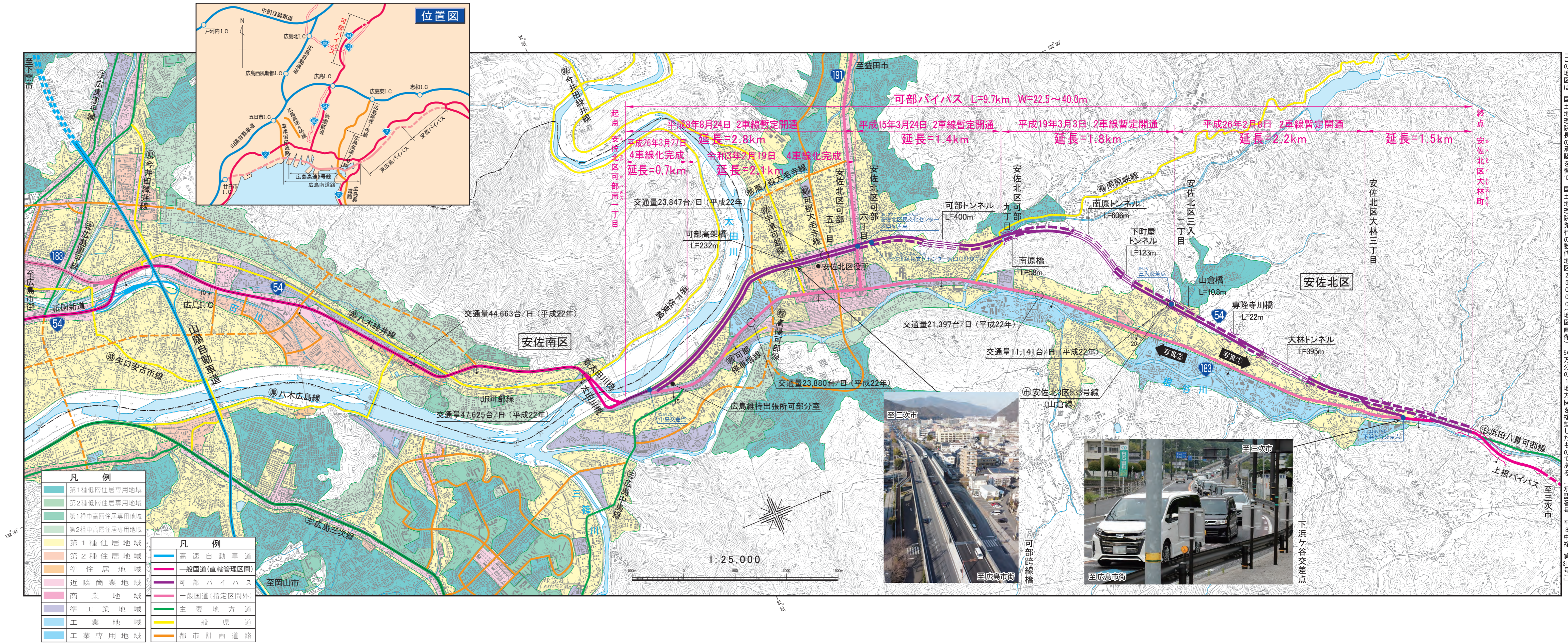
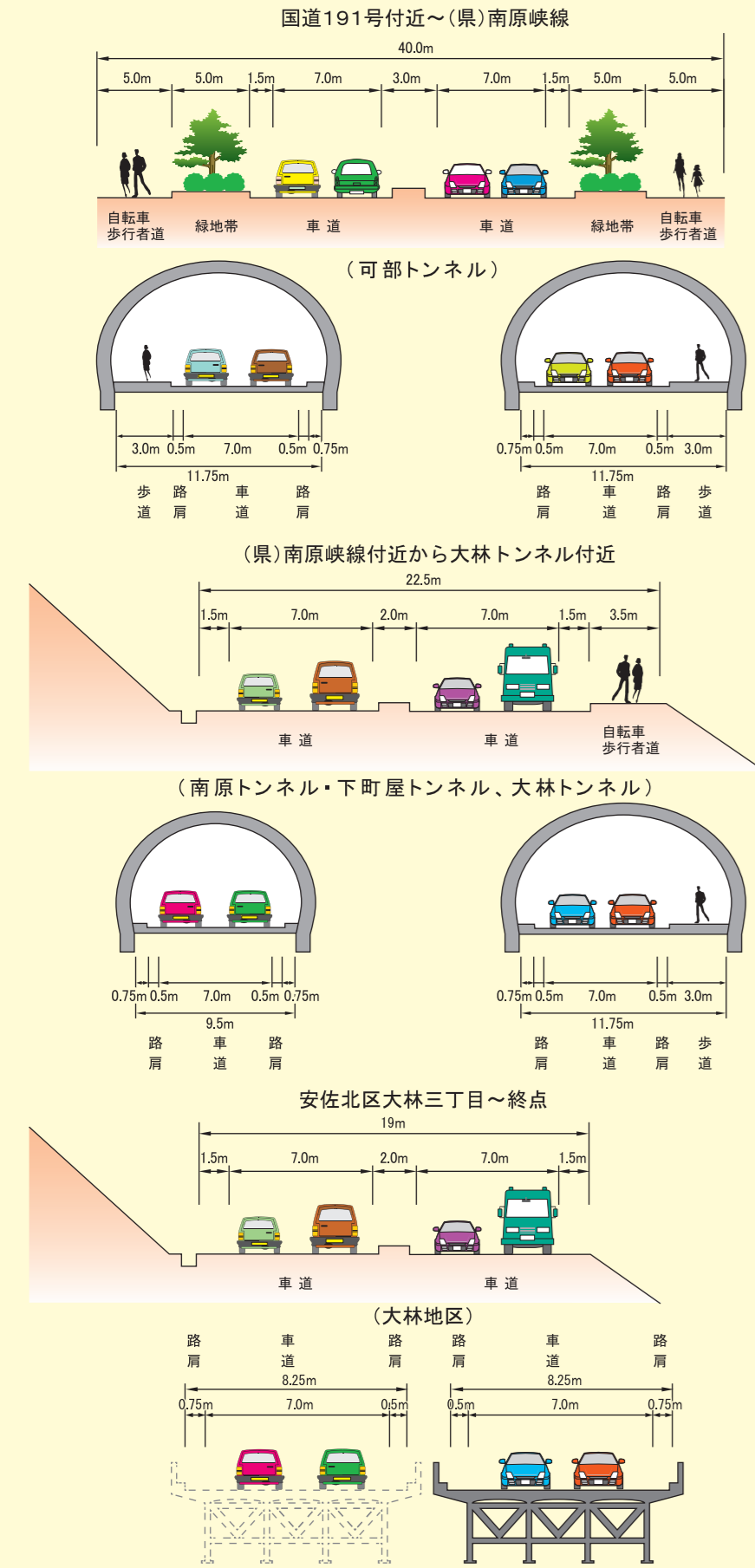
計画延長	9.7km	
施工区間	安佐北区可部南一丁目～ 安佐北区可部五丁目	安佐北区可部六丁目～ 安佐北区大林町
区間延長	2.8km	6.9km
道路の区分	第4種1級	第4種1級・第3種2級
設計速度	60km/h	
車線	4車線	
標準幅員	40m	40～22.5m

■事業の経緯

都市計画決定	昭和56年12月22日 平成15年2月24日（変更） 都市計画道路・八木大林線
事業化年度	昭和56年度
用地着手年度	昭和58年度
工事着手年度	平成2年度

KABE BYPASS

■標準断面図



この地図は、国土院の承認を得て、国土院発行の数値地図25000 地図画像、50万分の1の地方図を複製したものである。承認番号 平8中復第313号